

令和7年4月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和7年4月分について、輸出額は「有機化合物」などが増加したものの、「石油製品」、「鉱物性タール及び粗製薬品」などが減少したことから、対前年同月比17.9%の減少となった。また、輸入額は「液化石油ガス」などが増加したものの、「原油及び粗油」、「石炭」などが減少したことから、同6.4%の減少となった。その結果、差引額は1,243億円（同3.2%の増加）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	831億円	▲17.9%	2,074億円	▲6.4%	▲1,243億円	+3.2%
	9カ月連続の減少		2カ月連続の減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1) 有機化合物	52億円	+63.3%	輸入	増加品目	(1) 液化石油ガス	59億円	+37.2%	
		(2) 写真用・映画用材料	37億円	+75.4%			(2) 生ゴム	42億円	+28.2%	
		(3) 自動車	111億円	+15.5%			(3) コーヒー	17億円	+34.3%	
	減少品目	(1) 石油製品	66億円	▲60.4%		減少品目	(1) 原油及び粗油	1,270億円	▲4.9%	
		(2) 鉱物性タール及び粗製薬品	31億円	▲48.7%			(2) 石炭	32億円	▲59.9%	
		(3) 電気回路等の機器	56億円	▲33.1%			(3) 液化天然ガス	285億円	▲8.6%	
	地域別動向	アジア、北米が減少、西欧は増加				地域別動向	大洋州、中東が減少、アジアは増加			

（参考）ドルレートは、147.70円（前年同月比2.6%、3.96円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。